

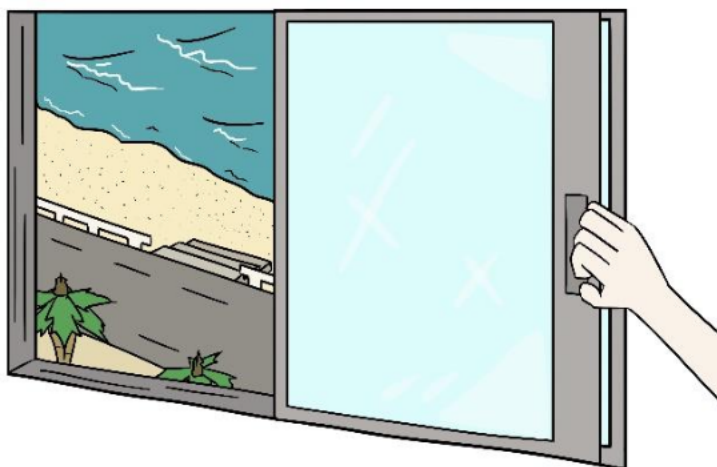
室内遮音性能測定



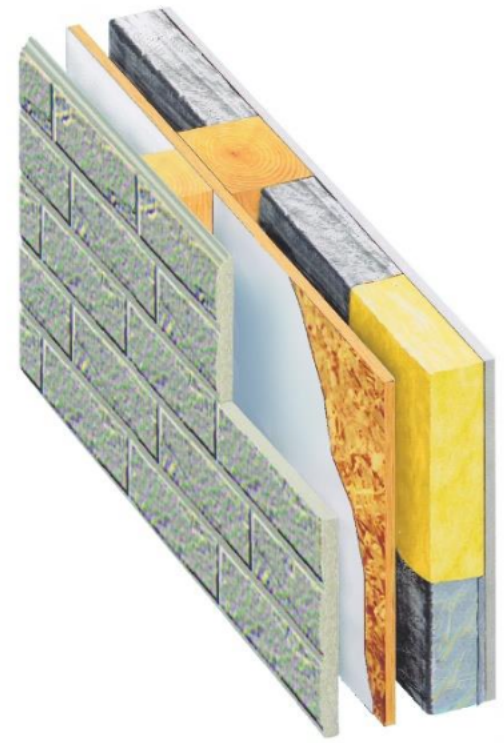
JIS A 1418-1
床衝撃音遮断性能
(軽量床衝撃音(タッピングマシン))



JIS A 1418-2
床衝撃音遮断性能
(重量床衝撃音(バンゲマシン))



JIS A 4706
サッシの遮音性能



JIS A 1419-1
室間遮音性能(界壁や界床)



JIS Z 8731
室内騒音レベル
(外部騒音・設備音・排水音など)

完成後の検証のため、騒音の測定方法や音圧レベル差を求める測定を行います。

日本建築学会による建物・室用途別性能基準

(建築物の遮音性能基準と設計指針 [第二版] 日本建築学会編 技報堂 p6-p8)

○室間平均音圧レベル差に関する適用等級						
建築物	室用途	部位	適用等級			
			特級	1級	2級	3級
集合住宅	居 室	隣戸間界壁 // 界床	D-55	D-50	D-45	D-40
ホテル	客 室	客室間界壁 // 界床	D-55	D-50	D-45	D-40
事務所	業務上プライバシーを 要求される室	室間仕切壁 テナント間界壁	D-50	D-45	D-40	D-35
学校	普通教室	室間仕切壁	D-45	D-40	D-35	D-30
病院	病室（個室）	室間仕切壁	D-50	D-45	D-40	D-35

○床衝撃音レベルに関する適用等級							
建築物	室用途	部位	衝撃源	適用等級			
				特級	1級	2級	3級
集合住宅	居室	隣戸間界床	重量衝撃源	L-45	L-50	L-55	L-60 L-65*
			軽量衝撃源	L-40	L-45	L-55	L-60
ホテル	客室	客室間界床	重量衝撃源	L-45	L-50	L-55	L-60
			軽量衝撃源	L-40	L-45	L-50	L-55
学校	普通教室	教室間界床	重量衝撃源	L-50	L-55	L-60	L-65
			軽量衝撃源				

*木造、軽量鉄骨造またはこれに類する構造の集合住宅に適用する。

○室内騒音に関する適用等級							
建築物	室用途	騒音レベル(dBA)			騒音等級		
		1級	2級	3級	1級	2級	3級
集合住宅	居 室	35	40	45	N-35	N-40	N-45
ホテル	客 室	35	40	45	N-35	N-40	N-45
事務所	オープン事務室	40	45	50	N-40	N-45	N-50
	会議・応接室	35	40	45	N-35	N-40	N-45
学校	普通教室	35	40	45	N-35	N-40	N-45
病院	病室（個室）	35	40	45	N-35	N-40	N-45
コンサートホール・オペラハウス		25	30	—	N-25	N-30	—
劇場・多目的ホール		30	35	—	N-30	N-35	—
録音スタジオ		20	25	—	N-20	N-25	—

注)この表の値は空調騒音、外部からの工場騒音のようなほぼ定常的な騒音に対して規定されている。
変動騒音、間欠騒音、衝撃騒音に対しては、「建築物の現場における室内騒音の測定方法」による方法で測定された値をあてはめる。

○適用等級の意味		
適用等級	遮音性能の水準	性能水準の説明
特 級	遮音性能上とくにすぐれている	特別に高い性能が要求された場合の性能水準
1 級	遮音性能上すぐれている	建築学会が推奨する好ましい性能水準
2 級	遮音性能上標準的である	一般的な性能水準
3 級	遮音性能上やや劣る	やむを得ない場合に許容される性能水準